

## 安全データシート (SDS)

作成・改訂： 2016 年 11 月 01 日

## 1. 化学品及び会社情報

|              |                                |
|--------------|--------------------------------|
| 化学品名称        |                                |
| 製品名          | 楽チン土のうブラック (本体加工)              |
| 会社名          | 萩原工業株式会社                       |
| 担当部門         | 合成樹脂事業部 ターピー部 品質強化課            |
| 住所           | 〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通 1 丁目 4 番地 |
| 電話番号         | 086 (440) 0820                 |
| F A X 番号     | 086 (440) 0818                 |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 産業資材 土のう用                      |

## 2. 危険有害性の要約

|              |   |
|--------------|---|
| G H S 分類     | 分類基準に該当しない。   |
| G H S ハザード要素 | 分類基準に該当しない。   |
| 危険性          | 本製品は危険物に該当しないが、指定数量 (3, 000Kg) 以上では「指定可燃物合成樹脂類その他のもの」に該当するため、火気注意のこと。 |
| 有害性          | 使用される原料の有害性は報告されていない。<br>有害性はないと思われる。                                 |
| 環境影響         | 野外に露出した場合、鳥等の動物が飲み込み窒息する可能性があるため、廃棄や露出には注意を要す。                        |

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物  
組成及び成分情報

| 化学物質名  | 含有量 (wt%) | 化学式又は構造式                                      | 官報公示整理番号 |        | CASNo     |
|--------|-----------|---|----------|--------|-----------|
|        |           |   | 化審法      | 安衛法    |           |
| ポリエチレン | 90.0~99.5 | (C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> ) <sub>x</sub> | 6-1      | 整理番号なし | 9002-88-4 |
| その他    | 0.5~10.0  |   | 登録済み     | 登録済み   | 有り        |

| 化学物質管理促進法 (P R T R 法) |   |         |           | 労働安全衛生法   |          |           |
|-----------------------|---|---------|-----------|-----------|----------|-----------|
| 種別                    | 号 | 指定化学物質名 | 含有量 (wt%) | CAS No.   | 通知対象物質名  | 含有量 (wt%) |
| 該当しない                 |   |         |           | 1333-86-4 | カーボンブラック | 1.00~1.50 |

## 4. 応急措置

|           |   |
|-----------|---|
| 吸入した場合    | 製品形状がシート状であり、通常使用の場合は該当しないが、加工により粉砕等を行った場合は以下の処置を行う。<br>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。<br>気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。<br>皮膚を速やかに洗浄すること。<br>気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。                                    |
| 眼に入った場合   | 水と石けんで洗うこと。<br>気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。<br>水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。            |
| 飲み込んだ場合   | 眼に刺激が持続する場合、医師の診断、手当を受けること。<br>気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。<br>口をすすぐこと。   |

## 5. 火災時の措置

|     |                       |
|-----|-----------------------|
| 消火剤 | 水、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂等 |
|-----|-----------------------|

|                        |   |
|------------------------|---|
| 使ってはならない消化剤<br>特有の危険有害 | 棒状注水<br>火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。   |
| 特有の消化方法                | 熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。<br>火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。<br>初期の火災には水（霧状水）、粉末消化器などを用いる。<br>大規模火災の蔡には、泡消化剤などを用いて空気を遮断することが有効である。<br>周囲の設備などに散水して冷却する。 |
| 消化を行う者の保護              | 移動可能な製品は速やかに安全な場所に移す。<br>一酸化炭素及び二酸化炭素や黒煙等が発生するので、防火服等に加え防毒マスクを着用することが望ましい。<br>風上から消化する。   |

## 6. 漏出時の措置

|          |  |
|----------|--|
| 人体に対する注意 | 作業者は適切な保護具（『8. 暴露防止及び保護処置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。<br>溶融物が付着した場合は、大量の水で冷却し、医師の診断を受けること。<br>外観に変化が見られたり、痛みや刺激が続く場合は直ちに医師の診断を受けること。 |
| 環境に対する注意 | 付近の着火源と成りそうな物を速やかに取り除くこと。<br>環境中に放出してはならない。  |
| 回収       | 掃き集め空容器等に回収し、指定の廃棄物処分法にて処分する。  |

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

|        |   |
|--------|---|
| 技術的対策  | 『8. 暴露防止及び保護処置』に記載の設備的対策を行い、保護具を着用する。           |
| 取扱上の注意 | 着火源に近づけない。<br>直射日光を避け換気の良い屋内で保管する。              |
| 保管上の注意 | 保管場所周辺では火気厳禁とする。<br>強酸化剤（ハロゲン、過氧化物等）の近くには保管しない。 |

## 8. 暴露防止及び保護措置

|        |   |
|--------|---|
| 管理濃度   | 設定されていない。   |
| 許容濃度   | 設定されていない。   |
| 設備対策   | 粉じん又は加熱溶融等で蒸気、ガスが発生する場合は局所排気装置を設置する。<br>装置等に静電気防止処置を行う。 |
| 呼吸用保護具 | 粉塵が発生する加工を伴う場合は防塵マスク、溶融等で蒸気、ガスが発生する場合は有機ガスマスクを着用する。     |
| 保護手袋   | 軍手の着用が好ましい。   |
| 保護眼鏡   | 粉塵、蒸気、ガス等が発生する場合は安全眼鏡を使用する。                             |
| 保護衣    | 長袖作業着が好ましい。   |

## 9. 物理的及び化学的性質

|          |                  |
|----------|------------------|
| 物理的状态    | 固体（ポリエチレン製糸条織物品） |
| 臭い       | ほとんど無臭           |
| 融点       | 105～130℃         |
| 沸点       | 製品としての情報なし       |
| 引火点      | 製品としての情報なし       |
| 爆発限界     | 製品としての情報なし       |
| 蒸気圧・蒸気密度 | 製品としての情報なし       |
| 揮発性      | 製品としての情報なし       |

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 比重    | 製品としての情報なし      |
| 溶解度   | 水に不溶            |
| その他溶媒 | 熱キシレン等の芳香族溶媒に可溶 |

## 10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性  
危険有害反応可能性

通常の実取扱い条件下では安定である。  
通常の実取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。  
燃焼により、一酸化炭素(CO)、NOX等の有害ガスが発生等が発生する恐れがある。

避けるべき条件

高温下、急激な温度変化

## 11. 有害性情報

製品の有害情報

製品としての情報なし

急性毒性

製品としての情報なし

皮膚腐食性・刺激性

製品としての情報なし

目に対する重篤な損傷

または眼刺激性

製品としての情報なし

呼吸器感作性・皮膚感作性

製品としての情報なし

生殖細胞変異原性

製品としての情報なし

発がん性

ホリエフとして

IARCの発がん性区分でグループ3に分類されている。

但し、ヒトに対する発がん性について分類できない。

生殖毒性

製品としての情報なし

特定標的臓器・全身毒性  
(単回暴露)

製品としての情報なし

特定標的臓器・全身毒性  
(反復暴露)

製品としての情報なし

吸引性呼吸器有害性

製品としての情報なし

## 12. 環境影響情報

製品の環境影響情報

製品としての情報なし

生態毒性

製品としての情報なし

但し、海洋生物や鳥類が摂取することを防止するために、海洋や水域での投棄、放出はしない。

残留性・分解性

製品としての情報なし

ホリエフは環境中で長期間分解しない。

生体蓄積性

製品としての情報なし

土壌中の移動性

製品としての情報なし

水層有害性

製品としての情報なし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号

該当しない

海洋汚染物質

該当しない

## MARPOL73/78付属書ⅡおよびIBCコードによりばら積み輸送海洋汚染物質

|             |  |
|-------------|--|
|             | 該当しない  |
| 航空規制情報      | 該当しない  |
| 国内規制        |  |
| 海上規制情報      | 該当しない  |
| 航空規制情報      | 該当しない  |
| 陸上規制情報      | 消防法における指定可燃物に該当するので、同法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。         |
| 緊急時応急処置指針番号 | なし   |
| その他         | 水濡れ、異物混入及び荷崩れ防止措置を行う。<br>包装を傷付けたり、破袋させるような乱暴な取扱いは厳禁。 |

## 15. 適用法令

|           |  |
|-----------|--|
| 労働安全衛生法   | 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) |
| 消防法       | 指定可燃物(合成樹脂類3,000kg)                      |
| 化学物質管理促進法 | 該当しない                                    |
| 毒物及び劇物取締法 | 該当しない                                    |
| 化審法       | 該当しない                                    |

## 16. その他情報

|      |  |
|------|--|
| 参考文献 | JIS Z 7253:2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」<br>JIS Z 7252:2014「GHSに基づく化学物質等の分類方法」<br>GHS Ver. 4 (UN) 2011. 7<br>独立行政法人 製品評価技術機構のGHS分類<br>化審法データベース (J-CHECK)<br>原材料メーカーの安全データシート(SDS)          |
| その他  | 本SDSは、JIS Z 7253:2012に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分でない可能性がありますので、取扱にはご注意ください。<br>本SDSの記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更して下さい。<br>また、注意事項等は通常の実取扱いを前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全策を実施の上、お取り扱い願います。 |